

=====

としまコミュニティ大学ニュース

(2020.11.25 発行)

=====

こんにちは！としまコミュニティ大学です。

12月のとしまコミュニティ大学は、2講座を予定しています。

最新の情報は、区のホームページのイベントカレンダーをチェックしてみてください。

今回の話題は、世界で最も注目される気鋭の哲学者マルクス・ガブリエルです。

としまコミュニティ大学に登録しているマナビト生が受講している書評を書くゼミでは、マルクス・ガブリエルの『世界史の針が巻き戻るとき』（PHP新書）を読んでいます。

講師は、前号も登壇した立教大学コミュニティ福祉学部専任講師の佐藤壮広氏です。

マルクス・ガブリエルは29歳でドイツ・ボン大学の教授になり、NHKのEテレ『欲望の時代』に出演して話題になった人です。

「哲学界のロックスター」とも呼ばれています。

本書では、われわれが直面する「五つの危機」を扱っています。「価値の危機」「民主主義の危機」「資本主義の危機」「テクノロジーの危機」、そしてこの四つの危機の根底に横たわる「表象の危機」です。

何が真実で何がフェイクなのかわからなくなった我々に、著者が提唱する「新しい実在論」は、人間として真っ当に正しく生きるためにはどうしたらよいかを私たちに投げかけています。

第3章「価値の危機」第4章「民主主義の危機」についての20人の受講生で読みました。

議論して出た意見をいくつか挙げてみます。

「価値は、行動規範であり、道徳と同じ普遍的なものである。」

「自分の頭で考える、どうすればいいのか判断する力をつけるには道徳教育が必要。これから必要な教育。」

「個人の尊厳、それぞれが違うことの大切さ。相手に自分と同じ価値を求めてはいけない。」

「非人間化の流れにつながる科学万能主義に対して、人間の持つ理性や精神性に価値観を置き、それをもっと鍛え上げることにより未来を担う子どもたちの「末人」化を防ぐということなのかもしれない。」

「自分の認めないものを排除するという行為は不寛容であり、民主主義の本質と逆行していると思う。「人間はこうあるべきだ」と押し付けるのではなく、相手を認めた上で良識を持って、その相手の価値を理解するよう努めたい。」

戦争やテロが無くならない、人種差別も大きく報道されています。

コロナ禍では、コロナ感染を理由にした攻撃も高まっています。

お互いに違いを認める場や訓練する場があれば、多文化や多人種であると理解ができ、認め合うことができます。

理解が進めば、戦争やテロ、他者への攻撃も起きないはず。

ガブリエルの言う「危機」を乗り越えていくには、子どもへの教育、そして大人にも、人間性を高めていく学びは必要なのですね。

そんな議論ができる学びの場づくりを、としまコミュニティ大学ではゼミ講座で行っています。

次回の発行は、2020年12月25日です。

発行：豊島区 学習・スポーツ課 生涯学習グループ

<http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/shogai/kyodokoza/index.html>

としまコミュニティ大学事務局

住所：〒171-8422 豊島区南池袋2丁目45番1号

電話:03-4566-2762 (平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分)

ファクス:03-3981-1577

E メール: A0014606@city.toshima.lg.jp

■豊島区内で開催されている講座の情報は「講座ほっとニュース」で！
としまコミュニティ大学ニュースとあわせて登録してみてもはいかがでしょうか。
「豊島区ホームページ」からどうぞ。

<https://www.city.toshima.lg.jp/012/kuse/koho/007058/index.html>

※メールの配信停止を希望される方は、豊島区公式ホームページの「メールマガジン配信停止」から配信停止の手続きを行ってください。

Copyright(C) 豊島区 All right reserved

掲載記事の無断転載を固く禁じます。
